

第3 計画の考え方

- I 基本理念
- II 基本的視点
- III 基本方針
- IV 施策体系
- V 出生数増加への反転に向けて

I 基本理念

すべてのこどもの、未来への可能性を広げ、

希望の実現をみんなで応援する

「こどもまんなか・かがわ」

(趣旨)

すべてのこどもたちが自分らしく成長し、夢や希望を持って未来に向かって個性を伸ばし、安心して挑戦できる環境の充実や、困難を抱えるこどもへのきめ細やかなサポートなど、こどもたちの可能性を最大限に引き出せるよう、そして、こどもたちが保護者や社会の支えを受けながら自己を確立していき、それぞれの希望が実現できるよう、家庭や学校、地域、行政、企業など社会全体のすべての人で応援し、それぞれの立場で支え合うことを目指しています。

そのために、香川県に暮らすすべてのこども一人ひとりを、社会のまんなかに据え、誰一人取り残さず大切にしたい、そしてそのことが、香川県の未来をつくる原動力であると信じて、この基本理念を設定しました。

II 基本的視点

基本理念を実現していくために、次の4つの“視点”を常に意識して進めます。

- 1 すべての子ども・若者の健やかに育つ権利を保障し、今とこれからの最善の利益を図る
- 2 すべての子ども・若者の貧困の解消を図り、良好な成育環境を確保する
- 3 若い世代が結婚や子育てに希望を持ち、その希望が実現できる社会をつくる
- 4 子育てに対して第一義的責任を持つ父母など保護者が、愛情を持って子どもと向き合い、喜びを感じながら子育てできる社会をつくる

III 基本方針

基本理念の実現に向かって、基本的視点を持った上で、次の4つの“方針”をもとに、具体的な施策の展開を図っていきます。

- 1 子どもや若者、子育て当事者のライフステージに応じて切れ目なく支援する
- 2 困難を抱える子ども・若者を誰一人取り残さず、その特性や支援ニーズに応じて、きめ細かく支援する
- 3 様々な不安や悩みを抱える子育て当事者を、地域・社会全体で支援する
- 4 子どもや若者、子育て当事者の視点を尊重し、その意見に耳を傾け、対話しながら、ともに進めていく

IV 施策体系

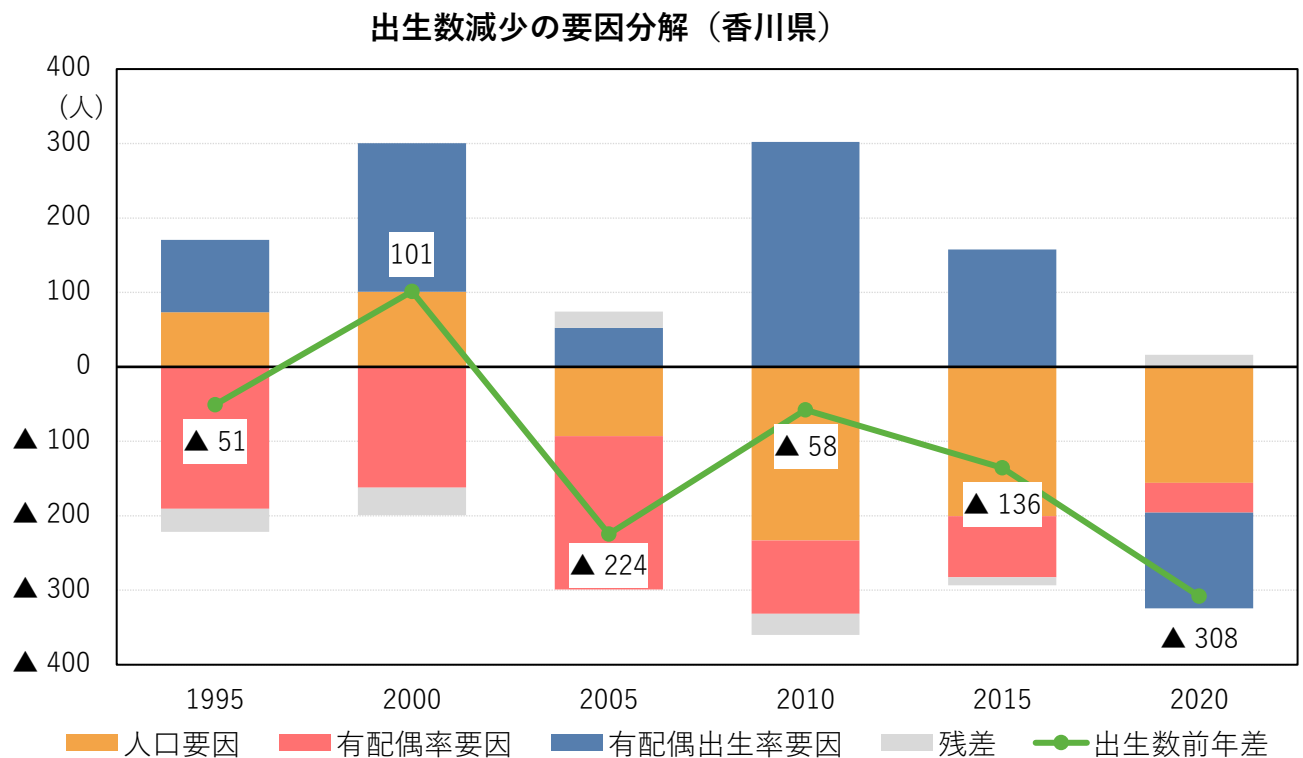
基本理念である「すべてのこどもの、未来への可能性を広げ、希望の実現をみんなで応援する『こどもまんなか・かがわ』」を目指し、基本的視点及び基本方針を踏まえ、体系的に施策を展開します。

| 大項目 | 項目 |
|---------------------------------|---|
| I こどものライフ ステージを切れ 目なくサポート | <p>【こどもの誕生前から幼児期まで】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 妊娠前から幼児期までの切れ目ない支援 2 幼児教育・保育の充実 <p>【学童期・思春期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 こどもが安心して過ごし学ぶことのできる学校教育等の推進 4 こどもが安全・安心に過ごせる居場所づくり 5 成年年齢を迎える前に必要となる知識に関する情報提供や教育 <p>【青年期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 6 高等教育の修学支援、高等教育の充実 7 若者の経済的基盤の安定への支援 8 出会い・結婚を希望する若者への支援 <p>【成長過程を切れ目なく支える環境づくり】</p> <ol style="list-style-type: none"> 9 成長を支える機会の創出と環境づくり 10 健やかな成育のための保健・医療体制の充実 11 こどもの情報モラル教育の充実とネット・ゲーム依存対策の推進 12 こどもの安全を確保するための活動の推進 13 こども・若者が自分らしく意見を表明できる社会の実現 |
| II 困難に直面する こどもへのサポ ート | <ol style="list-style-type: none"> 1 こどもの貧困の解消 2 障害のあるこども、医療的ケアが必要なこども等への支援 3 児童虐待の防止と社会的養育の推進 4 いじめや不登校に対する取組み 5 悩みや不安を抱えるこども・若者等を支える取組み |
| III 子育て当事者 を社会みんなで サポート | <ol style="list-style-type: none"> 1 子育て世帯の経済的負担の軽減 2 地域における子育て支援 3 共働き・共育での推進 4 ひとり親家庭への支援 |

V 出生数増加への反転に向けて

全国と同様、本県においても、加速度的に進む少子化や人口減少に歯止めがかからず、危機的な状況にあり、「日本のラストチャンス」と言われている 2030 年に向けて、喫緊の課題として取り組む必要があります。

出生数の低下を3つに要因分解した場合、継続的に女性人口の減少の要因や婚姻の減少の要因が影響してきたものの、近年、結婚した夫婦のこどもの数の減少も影響してきています。



資料：総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態推計」

※要因分解の手法は藤波(2022)を参考に香川県作成

少子化の局面を打開していくためには、少子化の要因として考えられる出産可能な女性の人口が減少していること、結婚数が減少していること、結婚した夫婦のこどもの数が減っていることの3点からアプローチする必要があります。言い換えれば、「かがわで暮らしたい」、「出会い・結婚したい」、「こどもを生き育てたい」という希望を応援する施策を展開することです。ただし、もとより、生活の場所や結婚、妊娠・出産、子育てについては、個人の自由な意思決定に基づくものであり、多様な価値観や考え方が尊重されることを前提として、現在、「かがわで暮らしたい」、「出会い・結婚したい」、「こどもを生き育てたい」という希望を持っている方に対しては、それぞれの実現を応援する施策を展開していくことが必要となります。

【2030年に向けての方針】

少子化の局面を打開し、出生数増加へと流れを反転させるためには、これまでの考え方や枠組みにとらわれず、官民・地域・あらゆる主体が知恵や力を結集し、一人ひとりの価値観や考え方が尊重されることは大前提としつつ、どんな些細なことでも、変化を恐れず、前向きに挑戦し続けること、そして、流れを変えるという機運の醸成が不可欠です。

ラストチャンス の 2030 年までに少子化の流れを反転できるよう、以下の3つの取組みの方向性に向かって、目下取り組んでいることも含め、あらゆる手段を講じ、短期・集中的に推進します。なお、具体的な取組みについては、毎年度の事業効果を十分に把握した上で、様々な機関と連携しながら、希望の実現につながる新たな取組みを推進します。

➤ かがわで暮らしたい、の実現

- 若者に魅力のある働く場の創出
- 若者の雇用安定や雇用環境の充実
- 若者が県内定着できる環境づくり

➤ 出会い・結婚したい、の実現

- 出会い・結婚の機会の最大化
- 若い世代の視点に立った出会い・結婚の応援

➤ こどもを生き育てたい、の実現

- 経済的負担の軽減
- 子育て拠点の充実
- 「みんなで子育て」の推進
- 保健・医療の充実